

**2023年度 中小企業海外展開現地支援プラットフォーム事業
市場レポート****中国のコンサート/ライブ市場について**

コロナ禍では中国におけるコンサート/ライブ活動はかなり制限されていたが、2023年度後半頃からは再び勢いを取り戻し、日本人アーティストを含む海外アーティストの公演も中国各地で活発になっている。中国のコンサート/ライブ市場に関して、日本人アーティストの公演を中心に、現状と関連市場の動向を考察する。

① 日本のアーティスト、作品の公開・公演状況

外国人アーティストの中国におけるコンサート/ライブ公演は、事前に開催地の管轄部門に公演内容（日時・場所・演奏楽曲リスト・歌詞等）を申請し、批准（承認）を得なければならない。例えば上海なら、「上海市文化和旅遊局」（上海市文化観光局：<https://whlyj.sh.gov.cn/>）に公演内容を申請し、批准されると公式サイトに批准番号などとともに発表され確認できる。

コロナ禍ではコンサート/ライブの制限もあり、海外アーティストの中国公演は止まり、オンライン公演などに切り替えられていたが、2023年後半頃から再び、中国各地で日本人アーティストのコンサート/ライブが続々と開催されている。

上海での公演を中心に、一部の例を挙げてみると…（チケットの価格は全て人民元、執筆時点 1元＝約20円）

◆藤井風

上海 2023年7月13日と14日、会場：上海商城劇院、チケット：380、580

◆MAN WITH A MISSION

上海 2023年9月22日 会場：万代南夢宮 1F 夢想劇場、

広州 2023年9月24日 会場：声音共和 LIVEHOUSE、チケット：320

◆RADWIMPS

上海 2023年10月24日 会場：NECC Hong Arena (Shanghai)

チケット：380、680、980、1280、1580

◆水曜日のカンパネラ

上海 2023年11月22日、会場：上海 ModernSkyLAB

チケット：前売り割引 260、ペアチケット 480、通常価格 300

北京 11月20日、広州 11月23日

◆ONE OK ROCK

上海 2023年11月25日と26日

会場：上海梅賽德斯-奔馳文化中心（メルセデスベンツアリーナ）

チケット：480、680、980、1280、1680

◆King Gnu

上海 2024年4月14日と15日、会場：上海静安体育中心体育館

チケット 480、680、980、1180、1380

◆ずっと真夜中でいいのに。

上海 2024年3月20日、会場：上海静安体育中心体育館

チケット 380、680、880、1080

上海のライブハウスやコンサート会場では、2024年度に入ってから毎週のようにどこかで日本人アーティストの公演が行われている。

上海で特に日本人アーティストの公演が多く行われているコンサート/ライブ会場をいくつか紹介すると…

◆万代南夢宮上海文化中心：公式サイト www.bnshbase.com

住所：普陀区宜昌路179号（蘇州河沿いエリア）

バンダイナムコの名前を冠に掲げる。元・浅水湾文化芸術中心。

サイズの異なる2つの会場を有し、日本人アーティストによる公演やファンミーティングなどが数多く行われている。ジャンルは、J-POP、アイドル、アニソン、ロックなど幅広い。

「夢想劇場」舞台面積 約200㎡、観客エリア総面積 約1000㎡

「未来劇場」舞台面積 約75㎡、観客エリア総面積 約152㎡

◆ModernSkyLAB：

住所：虹口区瑞虹路188号 瑞虹天地月亮湾3階

音楽レーベル「摩登天空」（公式サイト：www.modernsky.com）による。

2016年10月オープン、面積2000㎡、収容人数2000人。

国内外アーティストが公演を行うライブハウス。

◆MAO Livehouse 上海： 公式サイト <http://www.mao-music.com/>

住所：黄浦区重慶南路 308 号

面積は 1400 m²、高さ 5.3m、収容人数 800 名

北京、上海、広州、杭州、重慶、長沙、蘇州、成都でライブハウスを展開している。

2007年に北京で第1号店をオープン。上海は2009年にオープンし、場所はその後に移転している。

◆育音堂： 公式サイト <http://www.yuyintanglivehouse.com/>

上海で2店舗ライブハウスを展開している。2004年10月に開業。ロックが中心。

公園店：長寧区愚園路 1398 号、凱旋店：長寧区凱旋路 851 号

その他に、大型の会場では上海梅賽德斯-奔馳文化中心（メルセデスベンツアリーナ）や、上海静安体育中心などのスタジアムや体育館もある。

また日本人アーティストの中国ツアーで、上海だけでなく、北京や広州、深圳などの都市を連続で回るケースも少なくない。さらにプラスの公演場都市としては、杭州、南京、成都、重慶、武漢など。

例えば…

「Magic of Life 中国ツアー」：2023年10/29 上海、10/31 北京、11/1 武漢、
11/2 福州、11/3 アモイ、11/4 深圳、11/5 広州、

「松井祐貴 陽光之旅」：2024年3/8 上海、3/9 蘇州、3/10 杭州、3/12 南京、
3/13 武漢、3/15 北京、3/16 成都、3/17 都江堰、3/19 重慶、3/20 昆明、
3/22 南寧、3/23 広州、3/24 深圳 等

② 情報発信、ファンコミュニティについて

このようなコンサート/ライブのチケット販売は、「大麦」（アリババ系列、<https://www.damai.cn/>）、「秀動」（太合音楽集団による、<https://wap.showstart.com/>）、「淘票票」（アリババ系列、<https://dianying.taobao.com/>）等のプラットフォームで行われている。それぞれのサイトやアプリからだけでなく、微信（WeChat）や支付宝（アリペイ）のミニプログラムからも購入できる。

全てのチケット購入には、**実名登録制**が導入されていて、身分証（外国人はパスポート）番号と実名の登録が必須となっている。（入場時にチェックの場合もあり）

座席のある会場では、場所によって値段設定が異なり、数百元から2000元くらいまでで設定されることが多い。座席のないライブハウスでは、前売りやペアチケットの割引があったり、サイン会への参加や限定グッズがもらえるVIPチケット（通常チケットより高価）が販売されるケースも少なくない。

チケット販売スケジュールは事前に発表されるが、人気アーティストは発売と同時にソールドアウトになるケースも多く、ダフ屋に対する規制は強化されているが、問題は残っている。

また単にチケット販売だけでなく、「秀動」などはSNS機能もあり、同じ公演チケットを購入した人がグループでつながれるようになっている。

中国で音楽を聴くときの2大プラットフォームは「QQ音楽」（テンセント傘下、<http://y.qq.com/>）と「網易雲音楽」（網易ネットイースによる、<http://music.163.com/>）だが、どちらも日本アーティストの正規楽曲をサブスクで視聴できる。

「網易雲音楽」を例に見ると、日本の最新ヒットチャートとして、「オリコンチャート」やオリジナルの「雲音楽日本語ランキング」が更新されている。



網易雲音楽のアプリページ

サブスクで楽曲の視聴ができるだけでなく、歌詞（日本語のオリジナルと、日本語の歌詞を中国語翻訳したもの）が表示されたり、楽曲情報、ユーザーの楽曲に対するコメントを見る/書き込むこともできる。



網易雲音楽のアプリページ

さらに「チケット購入」も可能。アーティストのトップページから、(発売中のコンサート/ライブがある時には) 購入ページにも飛べるようになっている。(チケット販売は「票星球」と連動)



「網易雲音楽」のアーティストページの例。「抢票」をクリックすると、チケット販売ページに飛ぶ。

音楽アプリに関しては「中国の音楽に関する市場調査 2022 年度更新版」もご参照ください。

[https://www.jetro.go.jp/ext_images/ Reports/02/2023/72218cac73449251/music.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/Reports/02/2023/72218cac73449251/music.pdf)

ファン同士のコミュニケーションや情報交換には、様々な中国の SNS が活用されている。中でも推し活に強い SNS として、「**微博**」(www.weibo.com) があげられる。公式からの情報配信だけでなく、私設ファンクラブのアカウントも多数ある。また「**超話**」と呼ばれる、興味のある話題が同じ人たちでグループを作る機能がある。例えば「●●(アーティスト名)超話」などと表示され、ファン同士だけでなく、時としてはアーティストとも交流ができる仕組みになっている。「超話」で多くの発言をしてフォロワーが多いユーザーには「**超話大咖**」のマークで表示される。(「大咖」は中国語で「達人」のような意味)



微博の「超話社区」。

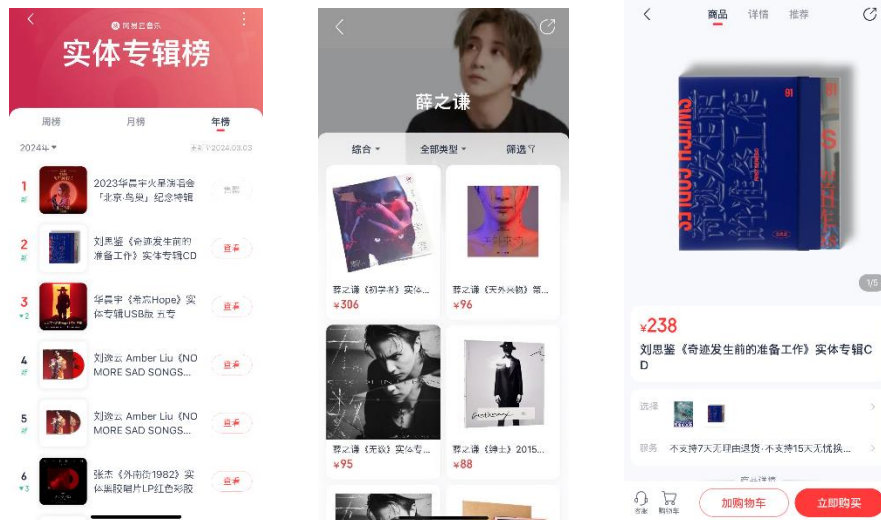
「日韓明星」(日本と韓国のスター)がひとつにジャンルになっている。

その他にも前述の「秀動」のようなチケット販売や、音楽プラットフォーム、さらには代表的な SNS (微信、小紅書) などのグループ機能や、動画シェアプラットフォームである bilibili など、ファン同士が交流できるプラットフォームは多岐にわたっている。中国の「飯圈文化」(ファン文化)として、**私設ファンクラブ**や、**非公式の応援グッズ**作りなど、ファンの自発的な活動も活発な一方、アーティストやプロモーター側も積極的にファンのつながりを活用することもある。

また中国のネット環境では、YouTube やインスタなどに接続できないこともあり、日本人アーティストも中国市場向けに、微博、小紅書、bilibili などに公式アカウントを立ち上げるケースも増えている。

③ 関連する周辺の産業の動向

音楽の楽曲販売は、各音楽プラットフォームでのサブスクがメインになっている。各音楽プラットフォームでは、CDやアーティストグッズの販売も行っている。



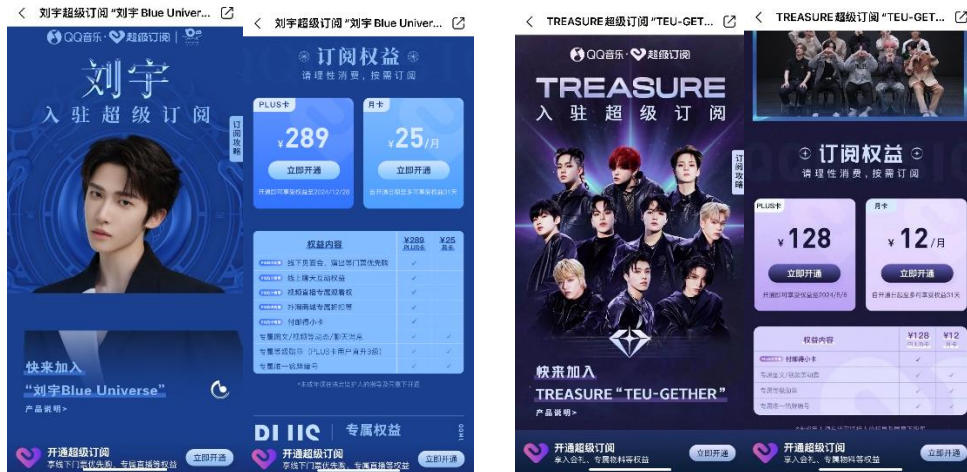
网易云音乐的 CD 販売ランキングと、販売ページの例。

CDはオンラインでは販売されているケースはあるが、メインストリームはオンライン視聴に移行しており、実店舗のCDショップは激減し、現在ではほぼ姿を見ることがなくなった。だが、「レコード」はおしゃれな音楽アイテムとしてブームとなり、レコードショップは増えている。



「上海書店」のレコード販売エリア（写真 筆者撮影）

また、QQ音楽では、アーティストによって「**超級訂閱**」というファン向けの有料サービスがある。月もしくは年間の会費を払うと、チケットの優先購入や、アーティストとのチャット、ライブ配信の視聴権、グッズ購入の割引、会員カードの発行などのサービスが受けられる。会費の値段、及びサービス内容は、アーティストによって設定が異なる。



QQ音楽の「超級訂閱」のページ例。



新浪娛樂の「超話社区」

「超話」で、「明星周边」（スターグッズ）のジャンルもあるように、ファンの間でアーティストグッズの情報交換も盛んだ。中でもよく目にする「中転站」は、グッズの転売プラットフォームを意味する。

「中転站」で人気が高いのが、アイドルの「明星小卡」（トレーディングカード）。日本や韓国のアーティストのトレカを集めるファンは以前から多かったが、最近では中国のアイドルたちもトレカの展開に積極的だ。だが、高額での転売や、未成年がトレカにお金をかけすぎることが問題にもなっている。



上海：百聯 ZX 創趣場の中にある「追星館」では、
韓国スターやアイドルのグッズが販売されている。(写真：筆者撮影)

公式のアーティストグッズは、コンサートやライブ会場でも販売が行われている。

また、公式グッズだけでなく、アーティストがイメージキャラクターをつとめるブランド商品の購入にもファンは積極的だ。だが、2021年5月に「ファンによる牛乳大量破棄事件」（ネット番組で推しに投票するために、スポンサー企業の牛乳を大量に購入して、飲まずに捨てている動画がネットで問題になった）以降、ファンによる行き過ぎた課金には規制が行われている。ファンによる推しへの課金熱は高いが、それに対する規制もあるのが現状だ。特に未成年や、過熱しすぎる課金に対しての取り締まりが厳しい。

2024年度に入り、日本のアーティストもますます中国全土でコンサート/ライブ公演を行う機会が増え、ファンの情報交換も盛んになっている。音楽フェスにも日本人アーティストが出演するケースも再び増え、コロナ禍前の活況を取り戻す勢いだ。だが、人気アーティストの公演のチケット購入にファンが集中し、高額な転売チケットが出る問題もある。

以上

プラットフォームコーディネーター・ミニレポート
「中国のコンサート/ライブ市場について」
(2024年3月)

○作成: ジェトロ・上海事務所

○執筆: プラットフォーム・コーディネーター 上海牛心文化伝播有限公司

【報告書の利用についての注意・免責事項】本調査レポートは、日本貿易振興機構(ジェトロ)上海事務所が上海牛心文化伝播有限公司に作成委託し、2024年2月に入手した情報に基づき作成したものです。掲載した情報は作成委託先の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。本調査レポートはあくまでも参考情報の提供を目的としており、提供した情報の正確性、完全性、目的適合性、最新性及びサービスの有用性の確認は、読者の責任と判断で行うものとし、ジェトロは一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロが係る損害の可能性を知らされていても同様とします。